

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	龍谷大学短期大学部	整理番号	2-2-060
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	実習事前指導の体系的な実施 —ボランティア活動の活用を中心とした取組—		
申請単位	短期大学全体		
申請担当者	阪口 春彦		
<p>(取組概要)</p> <p>社会福祉現場実習は福祉人材養成における重要な柱であり、その充実が社会的に求められている。その実習教育の効果を向上させるためには事前指導がカギであることに着目し、多様で体系的な実習事前指導の教育プログラムを構築した。</p> <p>実習事前指導の教育プログラムの中に、ボランティア活動などの福祉体験活動を取り入れたことが本取組の最大の特色である。現場実習を行う前に実施したボランティア活動の体験は学内での学習にフィードバックされ、学生の学習意欲や理解力を向上させている。</p> <p>また、福祉現場に慣れ、現場実習において求められる実践力を修得する機会ともなり、現場実習の教育効果を向上させている。そして、この実習事前指導の多様な教育プログラムを確実に実施できるように、①担当教員間の情報共有・連絡のための情報管理システムを整備していること、②ボランティア活動をコーディネートするセンターを全学単位、学部単位ともに設置するなど重層的な支援体制を整備していることが、組織上の特色である。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、龍谷大学短期大学部の「浄土真宗の精神に基づき実際に即した専門教育を施し、併せて有為の人材を育成する」という教育理念を実現するために、社会福祉科教員全員が担当し、組織的に実施されており、体系的に、現場実習としてのボランティア活動を中心とする特色ある優れた取組です。特に、2年次後期の全員参加の合宿研修による現場実習に向けて、1年次後期に実習事前指導と専門教育への導入としての「福祉体験活動」を位置づけてあり、事前指導の効果を高める上で大変に意義の深いものと思われま。また、それを学園全体としてボランティア・NPOセンターが支援するという組織的な体制は、他の短期大学に大いに参考になる取組です。</p>			